



国際規格の動向 – 国際会議報告 –

当社に関する審議について報告します。

ISO/TC45 (ゴム及びゴム製品)/SC2 (試験及び分析)/WG3 (物理試験)

タイ・バンコク

*金原英司

開催日:2023年10月31日

参加国:アメリカ・イタリア・インド・オランダ・スウェーデン・タイ・チェコ・ドイツ・フランス・マレーシア・日本
/11か国43名

(1) ISO/DIS 1431-1 (オゾン劣化試験)

日本提案の試験片端面保護を追加する改正で、DIS投票が9月に終了している。FDISに進めることが同意され、PLが2024年1月までにドラフトを提出することになった。

(2) オゾンクラックの評価方法

オゾンクラックの深さ方向の評価方法を日本よりプレゼンした。現時点ではTRとして進める。PLが2024年9月末までにドラフトを提出することになった。

ISO/TC61 (プラスチック)/SC6 (耐候性)

WG2 (光暴露) Ad-hoc Web会議

**喜多英雄

開催日:2023年11月14日

参加国:ドイツ・フランス・日本
/3か国9名

フランス提案の中圧水銀灯試験について、経緯の説明があった。既存のEN規格と提案するISO規格との関係を議論し、ISOではPWIからスタートすることになった。ドラフトを作成し、次回会議で議論した後、投票に進める。

ISO/TC42 (写真)/WG5 (画像の保存性)

カナダ・オタワ

**喜多英雄

開催日:2023年11月14日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・スイス・ドイツ・ベルギー・日本
/7か国22名

(1) ISO 18937-2 (キセノン光源)

現在実施しているILCの途中経過について報告があり、試験所間の結果の違いについて議論した。

(2) ISO 18937-3 (LED光源)

10月に終了したNP投票のコメントへの対応について共同PLより説明があった。LEDの仕様やMethodの内容について議論し、表現をよりわかりやすくするためPL間で話し合うことになった。これらの修正を反映した案を2023年末までに準備し、CD投票を2024年1月から開始する。

PL	Project Leader	プロジェクトリーダー
TR	Technical Report	技術報告書
EN	European Standard	欧州規格
ILC	Interlaboratory Comparison	研究所間比較試験

< ISO規格発行までの手順 >		
PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
AWI	Approved Work Item	提案承認段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

須賀茂雄がISO/TC156/WG7のConvenorに就任

2024年1月、当社代表取締役社長 須賀茂雄がISO/TC156 (金属及び合金の腐食)/WG7 (腐食促進試験)のConvenorに就任しました。ConvenorはWG (Working Group)の取り纏め役として国際的な立場から会議を主導し、WGのプロジェクトを管理する責任があり、さらに、該当分野における十分な経験とリーダーシップが求められます。任期は2024年から2026年までの3年間となります。

*開発部 次長
**校正部 部長